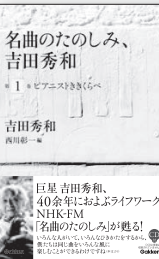


NAXOS JAPAN
WEBにて
大好評連載中
http://naxos.jp/special/no_unnei

楽聖四コマ劇場
運命
と
呼ばないで



© NAXOS JAPAN/IKI



「名曲のたのしみ、吉田秀和」全5巻 **CD付き 新発売**

第1巻 ピアニストききくらべ 2013年5月30日発売 ■A5判/352頁/定価3,360円(税込)/CD1枚付き

第2巻 指揮者を語る 2013年6月25日発売

NHK-FM 「名曲のたのしみ」が書籍になります!

さらに使いやすく。もっと、わかりやすく。 **2013年6月上旬 新発売**

新版 こどものソナチネ 全2巻 伊能美智子/校訂・解説 江崎光世/協力

解説ページを、ビジュアルたっぷりなものに一新! 見やすい大きな楽譜はもちろんそのまま。小学生に使いやすい「ソナチネ」へと生まれ変わりました!

■各:菊倍判/72頁/定価1,260円(税込)

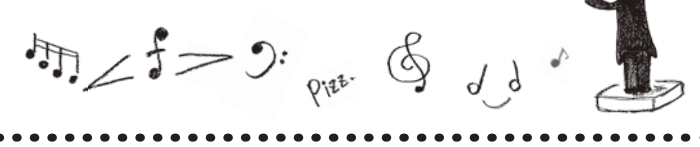
ラ・フォル・ジュルネに
行ってきました。
～プーランク作曲
(2台ピアノのための協奏曲 二短調)に心酔♡～

5月3日、東京国際フォーラムで開催された「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」に行ってきました! 今年のテーマは【バリ、至福の時】。3日間の来場者数は、のべ51万人だったそうです!

お目当ては、フランシス・プーランク(1899~1963)が1932年に書き上げた「2台ピアノのための協奏曲 二短調」。なかなかライブ演奏で聴く機会がなく、プログラムが発表された日から、この時がとて待ち遠しかったです…。

「私はいつもメロディを愛した」とプーランク自身が語るだけあって、彼の作風は「おしゃれな旋律の造型的な美しさ」が特徴。喜びの「エスプリ」に満ちた初期の作風は戦争を経て、モダンな旋律がありながらも混沌とした世界観を持つものへと変化します。〈2台ピアノのための協奏曲 二短調〉は、その過渡期に書かれたものです。現代的な手法による協奏曲のような手荒なものではなく、円熟した技法を用い、2台のピアノ独奏と同じように管弦楽も旋律的に美しく奏でられる、さながらフランスに洗練されたモーツァルトを思わせる典型的な協奏曲です。

演奏は、2台ピアノ、リディア・ビジャーク、サンヤ・ビジャークの姉妹。オーケストラ、香港シフォニエッタ、指揮は、中国の女性指揮者イブ・ウィンシーです。勢いよくキレイのあるビジャーク姉妹の独奏と、リズムカルで躍動感のある香港シフォニエッタとのやり取りが、非常におもしろい! 才媛イブ・ウィンシーの颯爽とした指揮に応え、混沌としたざわめきがピタッと止まり、美しい旋律が浮かび上がってくる…。プーランク作品の旋律の美しさという魅力が最大限に引き出された演奏でした。(の)



Web版もある
♪バックナンバーが閲覧できる!
♪ウェブならではの情報が満載!

学研 おんがく通信

6月号

2013年5月25日

Gakken
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net http://gakken-publishing.jp/ongaku/ 学研 電子ストア http://ebook.gakken.jp/gstore/

先日、○数年来の仲間たちとプラネタリウムに行きました。参加したプログラムは、「見えない星を見る」というテーマのもと、星を見るための「コツ」を実験を踏まえて紹介するというもの。忘れていたことを思い出させてくれるような時間でした。子どもの頃、夜中にこっそり家を抜け出して、仲間たちと集まり、畦道に寝転がり星を眺めたことを思い出します。星の瞬きがよく見え、手を伸ばせば届きそうな気がしたものです。(の)

編集部調査! ピアノの発表会で人気曲! おすすめ曲!

全国のピアノの発表会を調査し、よく選ばれる大人気の名曲をランキング形式にしました。選曲の際、ご参考にできれば嬉しいです♪

★★ 発表会で大人気! ★★
♪名曲 よく弾かれる BEST10♪

- 1位 エリーゼのために (ベートーヴェン)
- 2位 小犬のワルツ (ショパン)
- 3位 人形の夢と目覚め* (エステン)
- 4位 メヌエット ト長調 BWV Anh.114* (ベッツォールト/伝 J.S. バッハ)
- 5位 紡ぎ歌* (エルメンライヒ)
- 6位 トルコ行進曲* (W.A. モーツァルト)
- 7位 樅の木* (シベリウス)
- 8位 華麗なる大円舞曲 (ショパン)
- 9位 トルコ行進曲 (ベートーヴェン)
- 10位 バラード 第1番 (ショパン)

- 11位~20位
- アラベスク 第1番* (ドビュッシー) / 雨だれの前奏曲 (ショパン) / 幻想即興曲 (ショパン) / 月の光 (ドビュッシー) / はじめての舞踏会 (ストリーボック) / 花の歌 (ランゲ) / メロディー* (シューマン) / アラベスク (ブルクミュラー) / 乙女の祈り (パダジェフスカ) / カノン (バッハヘルベル)



やはり、不動の人気を誇る〈エリーゼのために〉。ドラマティックに展開される小ロンド形式、そして美しい旋律…まさに憧れですね! ある先生が、生徒さんに「発表会でどんな曲が弾きたい?」と尋ねたところ、何人も「“エリーゼ”が弾きたい!」と熱望し困ってしまった…という話も聞きました。さすが大人気の名曲! そこで、編集部がオススメする同レベル程度の名曲をご紹介します!!

編集部おすすめ!!
〈エリーゼのために〉と同レベル程度の名曲♪

- 紡ぎ歌* (エルメンライヒ)
- 人形の夢と目覚め* (エステン)
- かっこう* (ダカン)
- 春* (W.F. バッハ)
- ソナチネ Op.13 No.1 (カバレフスキー)
- 森のざわめき (ギロック)
- 真夜中の火祭 (平吉毅州)

はじめての発表会にぴったり!
『ちいさなおんがくかい』

ピアノを習いはじめて間もない生徒さんの発表会におすすめです! 生徒パートは単純な繰り返し演奏。先生パートの多彩な音色やリズムを持った伴奏と合わせると、「単純な繰り返し」がすてきな曲になります。先生と一緒に連弾をすることで、たくさんの演奏のヒントを得ることができるようです♪



編集スタッフの
超! 個人的なおすすめ曲

~今、発表会に出演するなら…この曲にチャレンジしたい!~
銀波 (ワイマン) (く) / ソナチネ 第2,3楽章 (ラヴェル) (か) / 波のアラベスク* (三善寛) (いも) / 過去形のロマンス (吉松隆) (の) / 平均率クラヴィア曲集 (J.S. バッハ) (め) / 空気の妖精 (ブルクミュラー) (な)

*『4期のピアノ名曲集』全4巻 [学研パブリッシング刊] 記載。一部試聴できます♪ http://gakken-publishing.jp/ongaku/

編集部のつぶやいたー!

早〜い! もうすぐ暑い夏がやってくる!! (＠や)

Tsubuyaitter..... follow me!

twitter @gakken_music 日々のよしなこことや最新情報をツイートしています!

日本の心

今回は、日本の歌百選のお話です。

2006年、文化庁と日本PTA全国協議会主宰で、「親から子、子から孫へ〜親子で歌いごう日本の歌百選」というキャッチフレーズのもと一般から曲を募集し、選考委員が選考、2007年に「日本の歌 101曲」が決定されました。これ

は当時の文化庁長官であった河合隼雄さんが「歌を通じて家族のきずなを確かめるきっかけに」と発案したもので、貴重な歌の文化を次世代につないでいくことを目的としたものでした。応募要項をみると、次のように記されています。

「歌は、日本語の歌詞であればジャンルを問いません。家族で歌うのに適していると思われる歌で、子どもや孫にも歌ってあげたい歌、日本の伝統文化として次世代に残したい歌を募集します。」

本紙のこのコーナーも、微力ながら伝統文化を残していきたい、という思いからスタートしたものです。少し古い話ではありますが、改めて皆さんといっしょに101曲を見てみたいと思い、今回とりあげてみました。

とはいえ、ここにその101曲すべてを掲載することは紙面の都合上できませんので、ランダムに選んだ30曲を掲載します。皆さんは何曲歌えますか? ご家族で挑戦してみてください! (く)

●文化庁のサイトで101曲をみるができます。http://www.bunka.go.jp/uta100sen/index.html

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 犬のおまわりさん | 11. 時代 | 21. どんぐりころころ |
| 2. おはなしゆびさん | 12. 夕やけこやけ | 22. この道 |
| 3. サッチャン | 13. 冬の星座 | 23. 世界に一つだけの花 |
| 4. 叱られて | 14. 花の街 | 24. ちいさい秋みつけた |
| 5. 月の沙漠 | 15. 夏の思い出 | 25. ドレミの歌 |
| 6. リンゴの唄 | 16. 浜千鳥 | 26. 牧場の朝 |
| 7. 春の小川 | 17. みかんの花咲く丘 | 27. 旅愁 |
| 8. 故郷 | 18. 七つの子 | 28. むすんでひらいて |
| 9. しゃぼん玉 | 19. 浜辺の歌 | 29. からたちの花 |
| 10. ないしょ話 | 20. もみじ | 30. 川の流れるように |



(8) (92) (91) (E1) '94T: 志泉

問題です! 次の歌詞は上のどの歌の歌詞でしょう? 番号でお答えください。

- ♪木枯らしとだえて さゆる空より 地上に降りしく 奇しき光よ ()
- ♪青い月夜の 浜辺には 親を探して 鳴く鳥が 波の国から 生まれでる ()
- ♪ただ一面に 立ちこめた 牧場の朝の 霧の海 ()
- ♪兎追いし かの山 小鯛釣りし かの川 ()



WEBで詳しく紹介しています!



ぴあのどリーむ情報

3月発売の『ぴあのどリーむ』シリーズの新クラス「中級導入」。いわゆる“定番”の教則本3種をシリーズに迎えたこととなりますが、これまでご愛用くださっている“どリーむっ子”の皆さんのため、『ぴあのどリーむ』ならではのさまざまな工夫をちりばめています! たとえば『ハノン 65の練習曲』では全曲を8分音符で表記する、移調練習を加えるなど、練習効果を意識しつつ、でも無理なく取り組めるよう、「ハノン」のエッセンスを凝縮しています。(か)



肩こりにさようなら! ~アレクサンダー・テクニクミニガイド~

皆さんはアレクサンダー・テクニクという言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。いまからおおよそ120年前、1894年にF.M.アレクサンダーという俳優が発見した「心と体の演奏法」で、欧米ではジュリアード音楽院でも必ず教えられているメソッド(方法)です。きっとよくご存知の方もいらっしゃることでしょう。このアレクサンダー・テクニクは音楽を演奏する人に限らずあらゆる「心と体の緊張」を大きく改善すると効果的な方法で、「人間の緊張が必ず頭と脊椎の関係で認知されている現象に着目」し、クセになってしまった体のトラブルもしっかり克服することができるというものです。このコラムでは次回からその中でも演奏者につきものともいえる肩こりについて、自分で取り組んで解消することができるイメージ作りとエクササイズの方法について紹介していきます。次回キーワードは「肩こりにならないようなラクな体の使い方」。ご期待ください。



6月10日は

トリスタンとイゾルデが 初めて演奏された日!!

1865年6月10日ミュンヘンのバイエルン宮廷歌劇場で、今年生誕200年となるリヒャルト・ワーグナーの代表的楽劇《トリスタンとイゾルデ》が初演されました。1859年に総譜が完成してのち、1862年にはウィーンで70回を超える稽古を経ながらも上演至難という烙印をおされるなどの紆余曲折があったすえ、ワーグナー崇拝者であったバイエルン国王ルートヴィヒ2世の庇護のもと初演でした。

この初演は19世紀音楽史上最大の事件といってもいいでしょう。空からふりそそぐ陽光と大地の滋養をたっぷりとしたロマン主義の果実がこれ以上ないほどに熟きったような芸術作品とでもいえるでしょうか。熱病的・偏執的といっても差し支えない、腐敗寸前の世紀末を予見した世界です。

音楽史上では、《トリスタンとイゾルデ》の以前と以後で分けることさえできる分水嶺のような作品でもあります。前奏曲冒頭に現れるいわゆる「トリスタン和音」が、それまでの西洋音楽が土台としてきた機能的和声の崩壊の引き金となったことは、どの音楽史にも記述されています。

そういう音楽史的に重要で画期的な意味合いをもったオペラ(楽劇)が、男女の不義の交わりをテーマとしていることが、いかにもワーグナーらしく思えます。許されざる男女の愛が究極には永遠の死へと向かうさまを音楽的に表現するのに、機能的和声の枠組みはあたかも踏み越えなくてはならない禁忌であったのかと考えたくもなります。それほどにこの作品においては、表現上における何を(What)と如何に(How)が区別しがたく緊密に一体化しているのです。たしかに不健全で頹廢的ともいえる官能の世界なのですが、ワーグナーの素晴らしいところはすべてを浄化する音楽で締めくくっていることでしょうか。忍従に忍従を重ね、焦らされるだけ焦らされて、最後に最高のカタルシスとして歌われるイゾルデの絶唱「愛の死」です。(え)



今月のあかね先生

あかね先生のレッスン・ルーム①

「私たち指導者は、“言った”ことで子どもに“伝わっている”と思えてみがちです。」とあかね先生。先日、ある指導者向けの講演会で「言うこと」と「指導すること」の違いについてお話をされたときのひとコマです。このときは「リズム指導」についてのお話でしたが、これは指導全般に言えることかもしれません。そこで、今回はピアノを弾くときの“強弱の指導”を例にお話を伺いました。

「導入期の子どもに *f* や *p* の弾き方を指導することは、なかなか難しいことよね。つい、“*f* は強く弾くのよ”と言葉だけでレッスンを進めてしまうけれど、幼いうちに“しくみ”(理屈)を教えてあげることも大切なんじゃないかしら。たとえば、私の場合は、指を上げる“高さ”と指を下ろす“スピード”の差で変化をつけるということに重点を置いて指導しているの。だから、レッスンでは『指を高くあげてごらん』『指をゆっくり下ろしてみよう』と具体的な指示をしてあげるように心がけているのよ。」

もちろん“強弱の指導”の場合、難しい曲になれば、さらに腕や肘、肩の力なども絡み合って、いろいろな音量・音色を作っていくことになるのだと思いますが、導入期の子どもには“指の作用”に絞って指導することがわかりやすさの秘訣だと感じました。

“指導する”ために大切なことは、“しくみ”(理屈)を教えてあげること。“子どもに難しいことを言っても…”とってしまうがちですが、アプローチのしかたを変えるだけで、驚くほど子どもが理解するということもあるようです。(いも)

ただいま、導入期のピアノ・テクニクを学ぶための教材を制作中です!あかね先生の長年の指導経験で培われたカリキュラムのもと、作曲を轟千尋先生、絵を尾田瑞季さんにお願ひし、とっても楽しい教材に仕上がること間違いなし!その他、子どもたちが取り組みやすいように、たくさんの方の工夫をしています。詳細は来月号でお知らせいたします。7月上旬発売予定です!どうぞ、お楽しみに★

♪丸子あかね先生 待望の新刊♪

はじめてのテクニク

ピアノのほん(仮)

丸子あかね/編著
轟千尋/作曲
尾田瑞季/絵

7月上旬 発売予定

つむりの練習手帳

つむりがコンクールにむけて意外とがんばっちゃったんで、「もっと上手になるかも!?’って、宿題がこれまでよりずっと多く出るようになったみたい。先生は、つむりにたくさん練習してほしいからそうしてるのに、つむりってば、とりあえず、今までの倍くらいピアノの前にはいるけど、ほーっとしてる時間だけが長くなって…。(トホホお兄)

つむり現在の楽譜

- ☆こどものハノン①
- ☆こどものバイエル①(81番)
- ☆ブレ・インヴェンション

今月のセミナースケジュール

- 5/29(水):[神奈川県/藤沢]有隣堂藤沢ミュージックショップ『リズムを確実に身につけるためのレッスン-発展編-』
- 6/14(金):[静岡県/掛川]掛川市美感ホール『子どもが飽きないリズムのレッスン-導入編-』
- 6/25(火):[静岡県/浜松]アオイ楽器店『子どもが飽きないリズムのレッスン-導入編-』
- 6/26(水):[静岡県/浜松]島村楽器 プレ葉ウォーク浜北店『子どもが飽きないリズムのレッスン<全2回>-導入編-』

たのしく、わかりやすく
ピアノ・テクニクの基礎がしっかり
身につく教材を制作中です!



編集部チョイスおすすめの1曲

いちばん星みつけた(わらべうた)
※コンチェルト版 レベル:★★☆☆☆
掲載楽譜→はじめてのコンチェルト!

オーケストラと協演できます!!ピアノのパートは簡単なユニゾンなので、導入期の子どもでも弾けます。発表会にもおすすめ!
(編曲:岩間稔/小野崎孝輔)



お詫びと訂正 「学研 おんがく通信 2013年5月号」Happy Birthday」コーナーに於きまして、掲載に誤りがありました。正しくは以下のとおりです。読者の皆様に深くお詫び申し上げますとともに、ここに謹んで訂正させていただきます。
■2行目 ×誤「オーストリア」→○正「オーストラリア」